

私の想い

一流の分館長を目指して



大崎町公民分館長会
代表
原口 博光

十一年前に大崎町議会議員を勇退して、現在は分館長として校区民の健康と幸せを願い、日夜親睦を図りながら分館の諸活動に精力的に取り組んでいる毎日です。

今は懐かしい町議会議員時代を追憶して見たいと思います。昭和四二年4月の議会議員選挙（定数24人）に立候補いたしました。年齢も28歳の若僧で職業は国鉄職員であり、出身地も都市であり、大崎町を知らない人間であったと思います。選挙

運動期間も当時は一週間であり、この期間に少しでも大崎町を知るために、全町、街頭演説をしながら歩いて回り、町境も知ることができました。その結果見事当選することが出来ました。又歩いて運動したことが以後の議員活動に十分役立ったものであります。選挙期間中には色々な噂が流れるもので、私に對しても余所者よそものが当選して、又若僧が何が出来るか等など悪口雑言でありました。誠に残念でありました。そこで、大崎町の変遷について歴史を勉強し、多くの事柄について学びました。

この歴史観からしても、私は余所者でなく本家本元の人間であり、自信を持って議員活動に専念したのであります。以後通算で7期28年の間議員を務めさせていただきました。町民の奉仕者として、又町民の代表者らしく負託に応えて活動をしてまいりました。今は公民分館長としてあらゆる事態に對し、懸命に取り組んでおります。

私が激務の議会活動から開放された翌月に前公民館長が訪問され、分館長を引き受けて欲しいと依頼があり、即答を避け、数日考えた末に引き受ける事を決め十一年目になります。議員時代に知り得た知識を分館活動に活かしながら、校区民の健康と幸せのため、あらゆる努力をしながら邁進する覚悟であります。

編集後記

新緑の香りがするさわやかな季節になり、皆さんには益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。近年、温暖化のせいか日本の四季が失われつつあります。

春なのに雪が降ったり季節ごとに咲いてた花が一斉に咲いたり、また、世界各地で大きな地震も頻繁に起きており、地球上に異変が起きています。自然災害かもしれないませんが、私達が地球を壊しているのも事実です。森林破壊、原発事故、河川の汚染など挙げればきりがありますが、私達は、後世のためもつと地球の事を考え、美しい環境を守っていく必要があるのではないのでしょうか。

議会も25年度がスタートしました。町民に身近な議会を目指して、全議員で取り組んでいきたいと思えます。

（広報編集委員 神崎 文男）

発行責任者 大崎町議会議長

中倉 毅